

感動したい!

それはうれし涙? 悲しみの涙?
涙なくしては読めない最強の11冊



978-4-338-34802-7

あやしの保健室II ② 祟るイチヨウ

染谷果子 / 作 HIZGI / 絵

不思議なアイテムで子どもたちを助ける(?) 妖乃先生の「あやしの保健室」シーズンII第2巻! 養護教諭・妖乃の次の赴任先には、祟りが起こるといわれているイチヨウの木があった。祟りの悩みも特製アイテムにおまかせあれ!

学校生活 青春・感動

2023年1月刊行

1,300円+税 / 四六判 / 190ページ

既6巻

小峰書店



978-4-323-07500-6

生まれかわりのポオ

森 絵都 / 作 カシワイ / 絵

ポオは背中にハートマークがあるネコ。ぼくとママとポオ。ぼくたちはいつも一緒だった。でも、ポオが亡くなった。泣き続けるぼくに、ママが「生きものには神様からもらった時間があるんだよ」って、物語を作ってくれた…。

動物

2022年6月刊行

1,400円+税 / 四六判 / 63ページ

金の星社



978-4-251-07312-9

スクラッチ

歌代朔 / 作

コロナ禍で黒く塗りつぶされた中三の夏。その中でもがきながら自分たちらしい生き方を掴み取っていく中学生たちの、疾走する「爪痕」を描く物語。

前向きになれたと、読者からの声多数! 大人にも読んでもらいたい一冊です。

家族・友達 学校生活

2022年6月刊行

1,500円+税 / 四六判 / 333ページ

あかね書房



978-4-337-31013-1

海よ光れ! 3・11被災者を励ました学校新聞

田沢五月 / 著

東日本大震災の避難所となった小学校で、被災者といっしょに寝泊まりしていた子どもたち。何を感じ、そして自分たちに何ができるのかを考え取り組んだことは…。岩手県山田町にあった大沢小学校の子どもたちの思いをつぶさに伝える感動のノンフィクション。

ノンフィクション 学校生活

2023年1月刊行

1,400円+税 / A5判 / 160ページ

国土社



978-4-494-02076-8

空から見える、あの子の心

シェリー・ピアソル / 作 久保陽子 / 訳 平澤朋子 / 絵

エイプリルが気にかけている男の子、ジョーイ。ひとりで校庭を歩き回るジョーイが、じつは足で巨大な絵をかいていることに気がつき、エイプリルはそっとジョーイを見守る。ところが絵のことが学校中にしれわり…。

青春・感動 学校生活

2021年12月刊行

1,500円+税 / 19.4×13.4cm / 344ページ

童心社



978-4-652-20403-0

大切な人は今もそこにいる

千葉望／作

災害で大事な人を失うということ、たとえ一人の死であつても家族や恋人などにとってはかけがえのないひとりを失うことです。その死が重なって報道される数となるのです。陸前高田の実家のお寺が東日本大震災の避難所となった著者が震災後10年を超え、伝えたいこと。

ノンフィクション

青春・感動

2020年11月刊行

1,300円+税／四六判／184ページ

理論社



978-4-652-20499-3

星の町騒動記 オオカミさまあらわる

榎崎茜／作

伝統ある神社の跡取り息子である星の町中学校2年のワタルに伝説の聖獣「オオカミさま」が見つかったとの一報が入る。オオカミさま発見に大騒ぎする大人たちに愕然とし、時にゼツボウしながらも、なんとかその生き物と自分の心を守ろうとするワタル・十四歳の奮闘。

青春・感動

SF・ファンタジー

2022年6月刊行

1,400円+税／四六判／224ページ

理論社



978-4-265-84029-8

チイの花たば

森絵都／作 たかおゆうこ／絵

チイのおばあちゃんは花屋さん。その仕事ぶりはまさに神わざ。大きな花畑でくり広げられるふしぎなできごと。チイの人を思う気持ち、一生懸命な姿に共感する、元気になるお話。森絵都のみずみずしい文章とたかおゆうこのカラフルな絵があいまった花いっぱい物語。

家族・友達

SF・ファンタジー

2021年10月刊行

1,300円+税／A5判／80ページ

岩崎書店



978-4-494-01840-6

友情

全5巻

手塚治虫／著 中野晴行／監修

ブラック・ジャックは、なぜこのような姿になったのか。そこには、子どもの頃大切な友だちの存在があった（「友よいすこ」）。その他、妖怪や宇宙人との友情など、切なく感動的な友情の物語6話を収録しています。

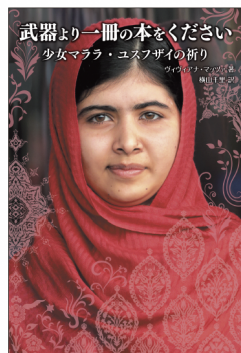
SF・ファンタジー

青春・感動

2018年3月刊行

1,980円+税／21.6×15.1cm／223ページ

童心社



978-4-323-07282-1

武器より一冊の本をください 少女マララ・ユスフザイの祈り

ヴィヴィアナ・マツツア／著 横山千里／訳

タリバン支配下にあるパキスタン。女性への教育の必要性や平和への願いを訴えたがために、わずか15歳のマララ・ユスフザイはタリバンの標的にされ、頭部に銃撃を受ける。奇跡の回復を遂げた彼女は国連で教育の重要性をスピーチし、最も若いノーベル平和賞の候補者になった。

戦争・平和

未来・夢

2013年11月刊行

1,400円+税／四六判／184ページ

金の星社



978-4-591-17399-2

両手にトカレフ

ブレイディみかこ／著

寒い冬の朝、14歳のミアは短くなった制服のスカートを穿き、図書館の前に立っていた。そこで出合ったのはカネコフミコの自伝。フミコは「別の世界」を見ることが出来る稀有な人だったという。本を夢中で読み進めるうち、ミアは同級生の誰よりもフミコが近くに感じられて――。

青春・感動

2022年6月刊行

1,500円+税／四六判／271ページ

ポプラ社